

令和5年度

希望が丘高等学校一般入学者選抜試験問題

国語

注意

- 1 監督者の開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから6ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入してください。
~~~~~
- 4 解答用紙の※印の欄には、何も記入しないでください。
- 5 監督者の終了の合図で筆記用具を置き、解答面を下に向け、広げて机の上に置いてください。
- 6 解答用紙だけを提出し、問題冊子は持ち帰ってください。

|                  |   |   |   |   |   |   |                   |        |
|------------------|---|---|---|---|---|---|-------------------|--------|
| 受<br>験<br>番<br>号 | ： | ： | ： | ： | ： | ： | 出身<br>中<br>学<br>校 | 氏<br>名 |
|------------------|---|---|---|---|---|---|-------------------|--------|



問題は、次のページから始まります。

一 次の文章を読んで、後の間に答えなさい。句読点等は字数として数えること。

では、①事実と意見とは何が違うのでしょうか。事実とは誰もが共有できる情報です。一方、意見とは個人的なA|カンテンによる情報で誰もが共有できないものです。例えば、

この本はおもしろい。

という文は人によってどう感じるかが違うので、事実とは言えません。ただし、仮にAさんという人がこう言っていたとして、「  a  」のような文になれば、事実と言えます。

また、一方、

この本は五〇〇円だ。

というのは事実です。誰が確かめても変わらないことだし、その情報は共有できるからです。

事実か意見かを確かめる便利な方法はあるのでしょうか。一つの基準として使えると思われるのが、「～と思う」をつけてみるというテストです。「～と思う」をつけてみて、意味が全く同じなら  b  、意味が違つてくるなら  c  と考えて大体よさそうです。例えば、次の二つの文は大体同じ意味だと言えるでしょう。

この本はおもしろい。

この本はおもしろいと思う。

一方、

この本は五〇〇円だ。

この本は五〇〇円だと思う。

は意味が少し違いますね。「五〇〇円だと思う」と「五〇〇円以外」

の場合もあり得るという意味になつてしまふからです。

「～と思う」というのは、個人的な情報ですよ、ということをB|マイゲンする表現です。従つて、もともと②個人的な意見の場合には「と思う」をつけても変わらないのに対し、③客観的な事実を問題にする情報の場合には、その意味するところが変わつてきます。私たちが話をする場合、事実ならば受け入れなければなりませんが、意見は必ずしもそうではありません。個人的な意見だからです。よく言われるようく、人の話を聞くときに、「事実か意見か」に注意する必要があります。

ただし、④事実と意見というのは実は簡単に二つに分けられるものではありません。

というのは、ものにはとらえ方があるからです。例えば、ある人が話をしているとします。その場合に、その動きを「訴えている」「語つてている」というのか「おしゃべりしている」というのか「C|ザツダンしている」というのか、どういう言葉を使って表現するかで違いがでけてしまします。もちろん、「口やその周りのD|ギカンを動かして言語音を発している」などといふこともできますが、ふつうの言い方ではありません。それに、言語音とは何か、などとつきつめるとそれでもやっぱり判断に左右されます。最終的には「常識的」な判断ということに落ち着かざるを得ないので、この世の中のことをE|描写する場合には、何らかの「判断」が入つてしまふことは否定できません。

(森山卓郎『コミュニケーションの日本語』による。一部改変)

問一 傍線部A～Eの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 傍線部①「事実と意見とは何が違うのでしょうか」とあるが、その答えについてまとめた次の空欄 I 、 II に入る

適当な語を、本文中からそれぞれ二字で抜き出して答えなさい。

誰もが I を II できるかどうか。

問三 空欄 a に入る文を、文脈に合うように考えて答えなさい。

問四 空欄 b 、 c に入る適当な語を、本文中から二字で抜き出して答えなさい。

問五 傍線部②「個人的な意見」、③「客観的な事実」とあるが、次のア～カをそれぞれに分けて、記号で答えなさい。

ア 田中さんは優しくて正義感にあふれる人だ。

イ 私は希望が丘高校の卒業生だ。

ウ 野球部は昨日の試合で、相手チームに勝利した。

エ 病院と薬局は徒歩一分の距離にあり、便利だ。

オ 美術室には、中学校三年間の思い出がつまっている。

カ 地球の約七割は水で覆われている。

問六 傍線部④「事実と意見というのは実は簡単に一つに分けられるものではありません」とあるが、なぜか。その答えについてまとめた次の空欄 I 、 II に入る適当な語を、本文中からそれぞれ抜き出して答えなさい。ただし、Iは四字、IIは二字とする。

ものには I があり、何らかの II が入った表現になるから。

次の文章を読んで、後の間に答えなさい。句読点等は字数として数えること。

小学校五年生のワタルが、児童会選挙で児童会長に立候補したトシの応援演説をする場面を描いたものである。

ワタルは長く息を吐く。また吸つて、そして話し始める。

「トシちゃんはたぶん、すごく①眩しい光です。強すぎる光だから、みんな側に寄ってきます。何でもできる、何でも持っているトシちゃんが羨ましくて、みんな友達になろうとします。でも、

なれない人もいます。光が強いから、それに耐えられなくなつて、それが手に入らないことが悔しくて、友達をやめていく人もいます。(中略) 初めからトシちゃんとなんか友達になりたくないなかつたんだ、トシちゃんのことなんか最初から嫌いだつたんだと思う方が、トシちゃんの強い光に耐えて友達でいるよりずっと簡単だからです。でもそれは、トシちゃんのせいじやありません。」

集会の最後なのに、無駄口を叩く生徒が誰一人としていなかつた。

「俺も、トシちゃんのこと羨ましい時がたくさんあります。トシちゃんと比べて、なんで俺はこんなんだろうと落ち込むこともありました。でも俺は、トシちゃんと友達でいることに決めました。絶対にトシちゃんを妬んだりしなくて済むように、トシちゃんの友達に相応しい男になろうつて決めました。これはトシちゃんにも話したことがないから——」ワタルが▲テレタのように笑つた。

「トシちゃんは今、そんなことする必要ないって言うかもしません。それでも友達でいてくれるつて言うかもしません。でも、これはトシちゃんじやなくて、②俺の問題です。俺がトシちゃんの友達でいたいから、いたいなら追いつかなくちやダメなんです。

そうでないと、俺がトシちゃんを眩しくなつて離れて行っちゃうかもしれないから。トシちゃんの悪口を言うようなことだけは、絶対にしたくありません。」ワタルが顔をふいに下に向ける。その場で目が合つた先生に■尋ねた。

「すいません、演説の時間もうおしまいですか。やめた方がいいですかー？」ワタルの声に、生徒の中から■ a 笑いが起ころ。その時だった。体育館の後ろから「続けるー。」という声が聞こえた。マイクのワタルの声に負け③ない、大きな、※<sub>1</sub>ハヤカワ先生の声だつた。

「構わないよー、続けなさい。先生が聞きたい。」

「ありがとう、先生。」ワタルはにつこりと笑つた。先生に親指を立てるサムズアップのポーズを送つた。体育館の後ろ、先生がそれに同じ手の形を返すのが見えた。

「ええと、だからね、トシちゃん。」後ろにいるトシに向けて、前を向いたままワタルは言つた。

「トシちゃん、どこに行つても何になつてもいいんだよー。」そも話したことないから——」

「さケンダ。

「どこに行つても、何になつても、俺は絶対に追いつくから。追つかけてくから。トシちゃんの友達でいるために、ずっと努力するから。空手も勉強も頑張るから。だから、トシちゃんは後ろのこどなんか見なくていいです。④すごいものを手に入れて、すごい人

になつてください。まずは」ワタルがとびきり大きく息を吸い込んだ。

「児童会長になつてください。みんな、トシちゃんをよろしくお願ひします。」そう言つて、b頭を下げる。あたりがc、静かになつた。

Dハクシユが、他の演説より一呼吸遅くやつてきた。それを受け、ワタルが嬉しそうにへへつと笑う。傷だらけの顔が、満足そな笑顔を作つた。

(注)※1ハヤカワ先生＝ワタルやトシたちの学級の担任の先生。

問一 傍線部A～Eの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。（なお、送り仮名が必要なものは、平仮名で正しく送ること。）

問二 次の会話は①「眩しい光」の内容を説明したものである。次の空欄I～IVに入る適当な語を、本文中からそれを抜き出して答えなさい。ただし、Iは十五字、IIは二字、IIIは六字、IVは二字とする。

中西さん：皆はトシちゃんがIから羨ましくて友達になるんだね。

深見さん：そうだね。でも光がIIから耐えられなくなる人もいるみたい…。

中西さん：トシちゃんが持っている光がIIIことが悔しいんだね。

深見さん：最初からIVだと思う方がII光に耐えるより簡単だもんね。

応援演説の内容じやないよな、とトシは思う。応援演説はもつと、会長になつたらきっとこうしてくれるとか、すぐ本人にやる気があるとか、そういうことを訴えるためのものだ。ワタルはそこをちよつと勘違いしている。が、(5)もうこれ以上は何もいらないと思つた。

そうだよ、ワタル。Eコウカイしてない。お前と友達になれて本当に良かった。

(辻村美月『ロードムービー』による。一部改変)

問三 傍線部②「俺の問題」とあるが、「ワタル」の心情についてまとめた次の空欄 I 、 II に入る適当な語を、本文中からそれぞれ八字以内で抜き出して答えなさい。

今まま自分がトシに追いつけなくとも、トシはそれでも I と言うかもしれないが、自分はトシに追いついて、トシの II になつて、ずっと友達でいたいと思つた。

問四 空欄 a ～ c に入る適当な語を、次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア 深々と イ しんと ウ どつと エ 延々と

問五 傍線部③「ない」と同じ品詞を含むものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア さりげない イ 忘れ物がない ウ もつたいない エ 変わらない

問六 傍線部④「すごいものを手に入れて、すごい人になつてください」とあるが、ここではトシの将来に対するワタルの思いが述べられている。これと同様に、トシの将来に対するワタルの思いが述べられている部分を、本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

問七 傍線部⑤「もうこれ以上は何もいらないと思った」とあるが、このときのトシの気持ちを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ワタルは応援演説の時間を把握できていないと思ったが、時間内にうまくまとめて演説をしてくれたので、すばらしいと思つている。  
イ ワタルは応援演説で訴えることを誤解していると思ったが、自分への思いを感じ、ワタルと友達になれて良かつたと思つている。  
ウ ワタルは応援演説を自らが目立つためのものだと勘違いしていると思ったが、ふさわしい内容を話してくれたので、嬉しく思つている。  
エ ワタルは応援演説ができるかもしれないと思っていたが、先生を含めたみんなを感動させる演説をしたので、意外に思つている。

三

「ルールの必要性」について、後の間に答えなさい。

問一 あなたはどのように考えるか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ルールは必要だ イ ルールは不需要だ

問二 次の条件1から条件5に従い、作文しなさい。

- 条件1 文章は二段落構成とすること。  
条件2 第一段落には、間一を踏まえ、そのように考える理由を書くこと。  
条件3 第二段落には、第一段落を踏まえ、具体例を書くこと。  
条件4 題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方に従つて書くこと。  
条件5 二〇〇字以上、二四〇字以内で書くこと。

これで、国語の問題は終わりです。